

# 日本アディクション看護学会 News Letter 第19号

2012年6月30日 発行

日本アディクション看護学会事務局

日本アディクション看護学会第11回学術大会開催に当たって

第11回学術大会大会長 日下修一

(獨協医科大学大学院看護学研究科准教授  
獨協医科大学看護教育センター)

昨年の東日本大震災の傷跡はまだ十分癒えたとは言えず、福島原発の処理も終わっていない状況ですが、こういう時期だからこそ、アディクションを抱える人々が増える機会となる可能性が増えています。特に、アルコール依存症などは震災後、しばらくしてから問題となり、これから増えていくことが予想され、あるいはある程度増えている状況ではないかと思われます。こうした中、被災県でもある栃木県で第11回学術集会を開催できますことに感謝したいと思います。

今回の大会テーマ「機能不全家族とアディクション看護」のキーワードとして「機能不全家族」を取り上げました。全てのアディクションの根底にあると考えられる機能不全家族という問題とそこから生じる諸問題を考え、特に、一次嗜癖と二次嗜癖の関係とアディクション看護への応用について、大会長講演で述べたいと思います。また、機能不全家族について様々な角度から



第11回 学術大会大会長  
日下修一准教授

考える為、記念講演や教育講演、シンポジウムを用意しています。さらに、従来の分科会を交流集会とし、公募も含めて、様々な交流集会を用意する予定です。これまで、発表形式は口演のみでしたが、ポスター発

表を加え、より発表しやすいように工夫しております。

懇親会も含め、会員相互の交流の場としても、研究成果の発表の場としても実り多い学術集会にしたいと実行委員一同知恵を寄せ集めております。

どうぞみなさま、2012年9月29、30日に栃木県獨協医科大学で開催します学術集会に発表も含め、ふるって参加されますよう、心からお待ち申しあげます。



獨協医科大学全貌(写真提供 日下先生)

日本アディクション看護学会  
第11回学術集会

《大会テーマ》

「機能不全家族とアディクション看護」

《日時・会場》

会期：2012年9月29日(土)・30日(日)

会場：獨協医科大学 創立30周年記念館  
関湊記念ホール・医学部教室

《学術集会の開催日程及びプログラム》

【一日目】2012年9月29日(土)

\*大会長講演：日下修一先生  
(獨協医科大学大学院看護学研究科准教授  
獨協医科大学看護教育センター)  
「機能不全家族とアディクション看護」  
座長：刀根洋子(目白大学大学院教授)

\*基調講演：安田美弥子先生  
(東邦大学医学部看護学科教授)

「共依存と家族の問題」

\*教育講演：星野仁彦先生  
(福島学院大学福祉学部長)

「機能不全家族が引き起こす諸問題」

\*シンポジウム：

「機能不全家族が引き起こす諸問題」

1. 国立きぬ川学院(医務課長富田拓先生)
2. 栃木 DARC
3. 栃木断酒会ホトトギス会家族
4. 検討中

\*ポスター発表：展示のみ

【二日目】2012年9月30日(日)

\*一般演題

\*交流集会 10テーマ予定

\*日精看栃木支部企画

\*特別企画：災害とアディクション看護

\*ポスター発表

《一般演題募集要領》

以下の通り、演題を募集いたします。

演題発表の形式：口演または

ポスター発表

\*口演：発表10分、質疑5分

パワーポイントを使用して下さい。配付資料がある方は各自でご準備願います。

\*ポスター発表：発表8分、質疑2分  
ポスターを用いた口頭発表。配付資料がある方は各自でご準備願います。

〈募集期間〉平成24年7月27日(金)

17:00まで

ワード(バージョンは問わない)で作成した抄録は学術集会事務局にメール送付  
(抄録様式) A4 1枚以内、余白は上下3.0cm、左右2.5cm。抄録右上に2.0cm×2.0cm程度の余白を作ること。

〈フォント〉:演題名 12ポイント  
他 10.5ポイント

〈本文の行数および文字数〉40字×35行以内。図表を入れる場合、1頁以内に収めること。ワードに貼り付けられない図表形式については、認められない。

〈内容〉演題名、発表者氏名(所属)、本文  
〈形式〉目的、方法、結果、考察(結論は無くても可)の形式を原則とするが、事例報告など研究手法等により、その他の形式も認める。

メール送付は以下のようにして下さい。

メール件名: 11回抄録送付

メール本文: 発表者名、所属、連絡先、演題名

添付資料: ワードにて作成した抄録を添付ファイルとして送付願います。

メール送付先:

[jadn11-office@umin.ac.jp](mailto:jadn11-office@umin.ac.jp)

〈注意事項〉

・発表者と共同研究者は本学会会員に限ります。

・事務局からの返信をもって受理とさせていただきます。

#### 《事前申し込み・参加費》

事前申込期間:平成24年8月24日まで、それ以降は当日受付のみとなります。

・昼食弁当(事前申込のみ):

1日分1,000円、2日分2,000円

近隣の食堂は極めて少なく、会場から徒歩10~20分程度の場所にあります。

ご自身で昼食を用意するか、弁当をご注文願います。

	会員	非会員	学生	日精看 栃木県支部 会員	当事者・ 家族
事前 申込	4,000 円	6,000 円	1,000 円	4,000 円	1,000 円
当日 受付	5,000 円	7,000 円	1,000 円	5,000 円	1,000 円
懇親 会費	4,000円				

・日精看の栃木県支部以外の支部の方の会員割引はございません。

・栃木支部の方が事前申込をする場合、所属施設と日精看会員番号を振込用紙にご記入下さい。

当日受付の場合は日精看会員証を受付でご提示下さい。

・当事者・家族の場合は当事者の方は自助グループの発行する会員証か証明できる文書を自助グループ代表の方に発行してもらって下さい。ご家族の方は同時に申し込んで下さい。

・事前申込は郵便局備え付けの振替用紙に、会員・非会員等の申込区分と弁当を必要とする日付(例:9/29・9/30)、懇親会参加の有無を記入し、合計額を振り込み金額としてご記入のうえ下記振替口座宛にお振り込み願います。

## 振替口座

口座記号番号 00180-9-679061

口座名称

アディクション看護学会第 11 回学術集会

### 依存と人間（抄録）

江北メンタルクリニック院長 斎藤広生

人間は極めて依存的な存在である。

出産時のヒトは極めて未熟な状態で生まれてくる。きちんと生育するためには養育者の存在が欠かせない。

また人間は集団生活を送る種であるが、社会生活とは即ち「相互依存関係」である。我々は生まれ落ちた瞬間から死ぬまで相互依存関係から逃れることが出来ない。

そして我々の生活活動の全ては依存対象になり得る。信仰、金銭欲、権力欲、仕事、対人関係、食行動、性行動、嗜癖物質、運試しゲーム、趣味、等々。

人間は生きていくために、様々な依存を活用していると言えるが、その依存が本人の社会生活を脅かす状態を「病的依存状態」とするなら、「健康的な依存」と「病的な依存」がどのような関係になるかを考察した。

また嗜癖と依存との関係について考察し、次に狭義の嗜癖（嗜癖物質依存）の脳科学について概説した。

嗜癖行動の中心回路として報酬系（中脳辺縁系ドーパミン神経系）が想定されている。嗜癖対象が分散され、バランスが保たれていれば、病的嗜癖とはみなされない可能性もある。

臨床上問題になる病的嗜癖とは限定された嗜癖対象を強迫的、反復的に使用する

場合である。

この場合、中心病理は強迫性なのか、複数の依存対象をバランスよく用いるスキルや知識の欠如なのか、あるいは衝動制御の障害なのか、神経心理学的な考察を行った。特に病的嗜癖が単独の疾患カテゴリーを持つものとするべきか、あるいはうつ病の部分症状や発達障害者等を根底に持つ者の防衛行動なのか、検討を行った。

最後に、これら依存（嗜癖）の病理に対して、どのような治療戦略が好ましいか検討を行った。

### 《編集後記》

第 11 回日本アディクション看護学会学術集会のお知らせを載せた「News Letter 第 19 号」を発行することができました。

江北メンタルクリニック院長 斎藤広生先生の御寄稿は、原著論文の抄録です。ご無理を言って載せることができました。ありがとうございました。発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。（荒木）

### 《事務局からお知らせ》

学会費未納の方は、振込用紙を同封させていただきます。また、ホームページからダウンロードもできます。年度内のお振込みにご協力お願いいたします。

<http://plaza.umin.ac.jp/~jaddictn/>

現在会員数:160 名 (2012.6.1 現在)

【事務局所在地】〒350-1241

埼玉県日高市山根 1397-1 埼玉医科大学

保健医療学部看護学科 丸山昭子研究室

日本アディクション看護学会事務局

TEL・FAX 042-984-4925 (丸山直通)

【事務局 e-mail】

[issan@saitama-med.ac.jp](mailto:issan@saitama-med.ac.jp)